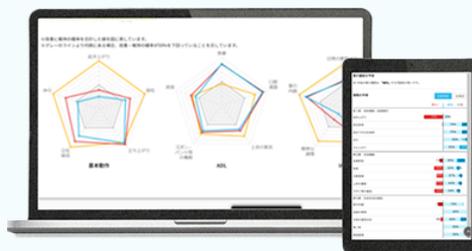




## ケアプラン作成業務を支援する 新しいクラウドシステム



### 疾患に関するアセスメント

#### 転倒予防の対策

- 過去の転倒歴（転倒場所や状況、時間帯）
- 転倒に対する本人の理解度（高次機能障害による影響の有無）
- 居住の環境（日常生活に課する場所、障害と高度の移動など）
- 転倒危険により外出が制限されているか？福祉用具の充満しの検討
- 身体機能を維持するための運動機会の不足はないか？歩行バランスの低下の有無
- 本人の病歴の状況（病歴の程度、遠征歴等の病歴、病歴によりできない動作など）

初期費用・追加費用なし

## SOIN そわんのご利用料金

ケアマネジャー様1人につき1アカウント月額 **6,000円** (税抜)

※各種割引制度もございます。詳しくは弊社窓口までお問い合わせください。

お問い合わせ

〒104-0031

東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン14F

株式会社 シーディーアイ

HP : <https://soin.tech/>

TEL : 050-5491-7123

FAX : 050-3588-7026



# SOIN<sup>そわん</sup>は人とAIの融合により、 自立支援を目指すケアマネジメントに変革をもたらします

## SOIN<sup>そわん</sup>ができること

### ◎ アセスメントのポイントや支援内容を提案①

状態分析では、ご利用者の【状態の悪化を防止したい項目】【疾患別ケア】を選択すると、アセスメントで確認すべき項目と具体的な支援内容をSOINが提案します。さらに、AIが選んだ項目に関する分析も表示します。ChatGPTは、【状態の悪化を防止したい項目】に対する回答を表示します。アセスメントの抜け漏れ防止や、課題分析の際にもお役に立ていただけます。

#### 項目選択分析

状態の悪化防止を図りたい項目を一つ選択し、該当する疾患がある場合はいずれかを選択して「分析」ボタンを押下する。

#### 課題分析アセスメント

ご利用者の状態に合わせた支援内容を提案すると共に、特にポイントとなる項目をわかりやすくお知らせします。

#### 支援内容ワンポイント

ご利用者の状態に合わせた支援内容を提案すると共に、特にポイントとなる項目をわかりやすくお知らせします。

#### ChatGPTの回答

ご利用者の状態に合わせた支援内容を提案すると共に、特にポイントとなる項目をわかりやすくお知らせします。

The screenshot displays the SOIN application interface, which is designed for user assessment and analysis. At the top, there are navigation tabs for '基本生活' (Basic Life), '身体精神' (Body/Mind), '分析' (Analysis), 'サービス' (Services), and '比較' (Comparison). The main content area is divided into several sections:

- 状態分析 (Status Analysis):** A section where users can select items to prevent deterioration (e.g., walking, eating, oral hygiene, bathing, medication, shopping) and choose a specific disease category (e.g., dementia, stroke, heart disease).
- あなたが選んだ項目に関する分析 (Analysis of Selected Items):** A section providing detailed analysis for the selected item '買い物' (shopping). It includes a risk assessment (e.g., '1. アセスメント') and a list of support content (e.g., '2. 支援内容').
- ワンポイント (One Point):** A highlighted section indicating a key point: 'この利用者の買い物が悪化する要因は「金銭の管理が一部助動」であるため、この状態の改善を図ることで買い物の悪化防止に繋がります。' (The factor causing the user's shopping to deteriorate is 'partial assistance with financial management', so improving this status can lead to prevention of shopping deterioration).
- 金銭の管理の悪化防止におすすめの支援内容 (Recommended support content for preventing deterioration of financial management):** A list of specific support suggestions such as '連携・情報共有' (collaboration/information sharing) and '家族・サービスの活用' (utilization of family/services).
- 【参考】「この方への買い物の支援方法は？」に対するChatGPTの回答 (Reference: ChatGPT's answer to 'What are the support methods for this person's shopping?'):** A section showing a sample response from ChatGPT, providing practical advice on how to assist with shopping.

# ◎ アセスメントのポイントや支援内容を提案②

基本ケア/疾患別ケア分析では、「適切なケアマネジメント手法の策定、普及推進（以下、適ケア）」をもとに【基本ケア】【疾患別ケア】【不安がある項目】を選択すると、各項目で選んだ内容に対応する分析を表示します。

## 該当項目を選択

- 基本ケア
- 疾患別ケア
- 不安がある項目

## 基本ケアに関する分析

基本ケアの大項目5つの中から一つを選択すると、関連する中項目が表示されます。さらにそれらを選択すると、それぞれ具体的な支援内容が整理して表示されます。

## 疾患別ケアに関する分析

疾患に関するアセスメントでは、要介護認定の原因疾患として多い5つの疾患に対するアセスメントを表示します。

# ◎ 状態の改善が期待できるサービスプランの提案

AIがこれまでに学習した膨大な過去のデータをもとに、以下2つのプランを提案。

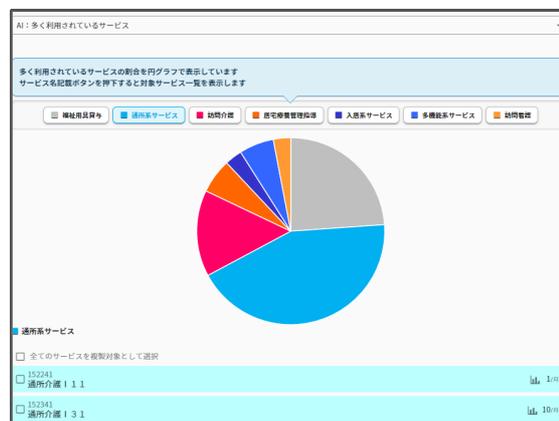
- ▶ 改善志向プラン(状態改善の可能性が高いプラン)
- ▶ 状態が最も近い方のプラン

ご自身でサービスの追加や削除、実施回数を変更することも可能です。  
さらに、「多く利用されているサービス」も表示します。

AI: 改善志向プラン	
<input type="checkbox"/> 全てのサービスを複製対象として選択	
<input checked="" type="checkbox"/> 162009	3.0h
通所リハ26 6 1	
<input checked="" type="checkbox"/> 162019	1.0h
通所リハマネジメント加算 A 2 1	
<input type="checkbox"/> 171007	1.0h
手すり貸与	
<input type="checkbox"/> 171007	1.0h
手すり貸与	
<input type="checkbox"/> 171007	1.0h
手すり貸与	

AI: 状態が最も近い方のプラン	
<input type="checkbox"/> 全てのサービスを複製対象として選択	
<input checked="" type="checkbox"/> 114111	4.0h
身体・生活 1	
<input checked="" type="checkbox"/> 117211	4.0h
生活援助 2	
<input checked="" type="checkbox"/> 152341	13.0h
通所介護 1 3 1	
<input checked="" type="checkbox"/> 152351	13.0h
通所介護入浴介助加算 1	
<input type="checkbox"/> 171007	1.0h
手すり貸与	
<input type="checkbox"/> 171009	1.0h
歩行器貸与	



# ◎ メモ機能

ケアプラン作成画面内の「基本・生活」、「身体・精神」、「分析」カテゴリ内の大項目毎にメモを記入できる機能です。入力したメモをケアプラン閲覧/編集時及び、印刷時に表示する事が可能です。また、課題整理総括表作成画面の備考欄へ反映されます。

メモ表示領域の背景色を「黄」「赤」「緑」の3色から選択できるので、入力したメモに対する重み付け（優先度）や、カテゴリ分け等を運用シーンに合わせて活用可能です。

基本生活情報の入力

共通情報

必須 要介護状態区分

非該当 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

メモ記入

【「メモ記入」ボタンを押下すると表示されるメモ入力ウインドウ】

メモ(全角400文字以内)

※入力された全角文字は全角文字に自動変換します

メモ内容  
要介護度は現在認定申請中で仮です。

メモの色  
黄色

キャンセル メモ変更

【メモを記入後、設定された背景色で対象となる大項目内に表示】

基本生活情報の入力

共通情報

要介護度は現在認定申請中で仮です。

必須 要介護状態区分

非該当 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5

## ◎ ご利用者の約1年後の要介護度・状態を予測

SOINが提案したプランや、ご自身で入力したサービスプランを利用した際の「約1年後のご利用者の要介護度・ADL・IADL・認知症状等」を予測します。

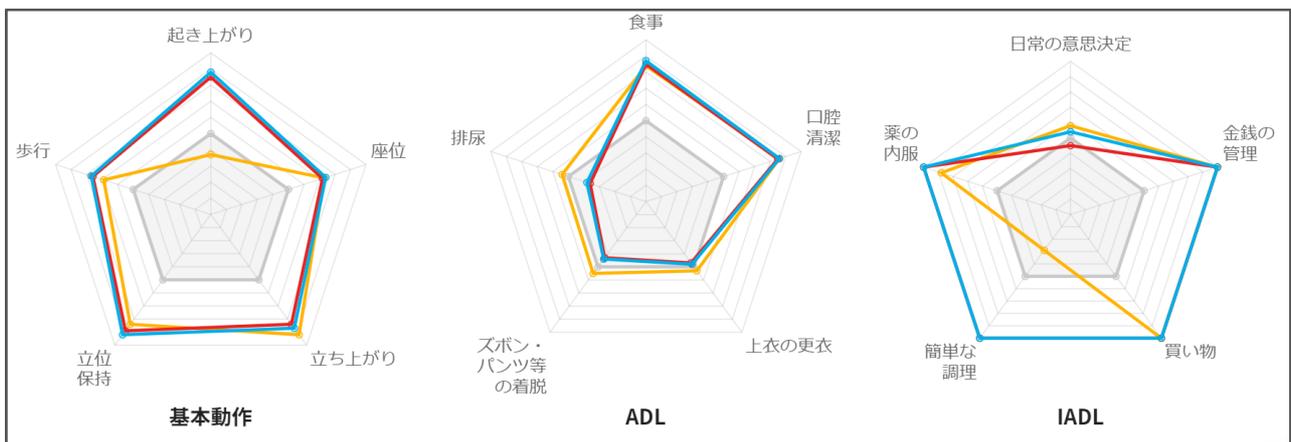
要介護度の予測は数値で、状態の予測は棒グラフで表示します。

各状態の項目と利用者の生活を関連付けて、ケアマネジメント・居宅サービス計画書の作成にお役立てください。



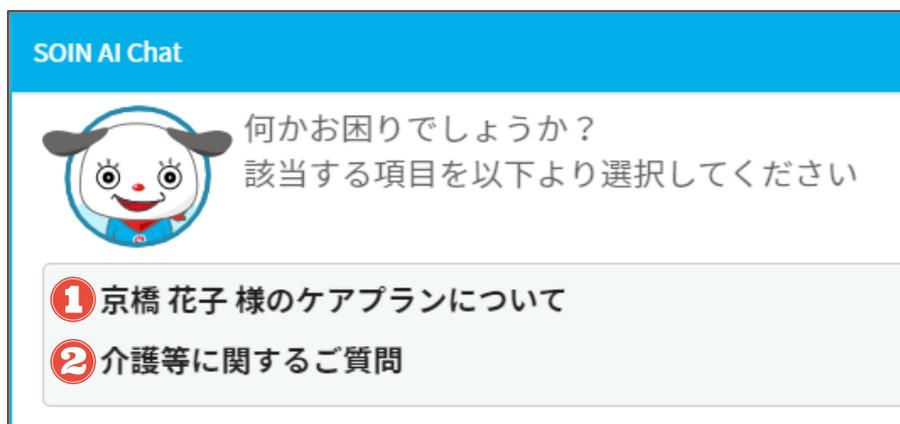
## ◎ 約1年後の状態予測の比較が可能

SOINが提案したプランやご自身で作成したプランなど、最大3案まで将来の状態予測の比較ができます。下の図のように改善と維持の確率を合計した値をレーダーチャートで表示します。



# SOIN AI Chat機能

「SOIN AI Chat」は、最先端のAI技術を活用して、ご利用者一人ひとりの個別状況を考慮した上で、ケアマネジャー様の相談相手となる機能です。2種類のチャットタイプがあります。



## ①ご利用者の個別状況に応じた相談支援

SOIN AIはご利用者の基本情報と状態情報を分析し、状態予測や推奨サービスをレコメンドします。これらのデータをもとに、ChatGPTはご利用者の個別的なアドバイスや解決策を提供します。チャット形式のため、ケアマネジャー様が必要に応じて繰り返し質問や相談を行うことができ、より効果的なケアマネジメントができます。

## ②ケアマネジメント全般業務に関する支援

ご利用者の個別的な情報は加味せず、ChatGPTを利用できます。

例えば、記録や申し送り等の文章の作成やチェック、日常業務の管理など、ケアマネジメント業務全般にわたる幅広い質問や相談に対応します。

## SOIN AI Chatの回答



# 課題整理総括表作成機能

慣れ親しんだ帳票内の項目に直接入力し、完成イメージを確認しながらの作業が可能です。SOINへ入力したご利用者の情報と、AIによる分析・状態予測の情報を自動的に「課題整理総括表」に転記します。

ケアマネジャー様は、この提供された情報を元に課題整理総括表の編集・作成が可能となり、より迅速に、かつ高品質な「課題整理総括表」の作成が可能となります。

利用者名 京橋 花子		課題整理総括表				作成日 2024/2/5
自立した日常生活の障害要因 (心身の状況、環境等)		①	②	③	利用者及び家族の生活に対する意向	
状況の事実 ※1		現在 ※2		要因※3	改善/維持の可能性※4	備考(状況・支援内容等)
				改善	維持	悪化
移動	室内移動	自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
	屋外移動	自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
食事	食事内容	自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
	食事摂取	自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
	調理					
排泄	排尿・排便					
	排泄動作					
口腔	口腔衛生					
	口腔ケア					
服薬						
入浴						
更衣						
掃除						
洗濯						
整理・物品の管理						
金銭管理						
買物						
コミュニケーション能力		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
認知		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
社会との関わり		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
褥瘡・皮膚の問題		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
行動・心理症状(BPSD)		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
介護力(家族関係含む)		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化
居住環境		自立	見守り (一部介助) 全介助	改善	維持	悪化

SOIN  
入力項目  
反映

AI結果  
反映

SOIN  
入力項目  
反映

AI結果  
反映

※1 本表は最終段階でありシステムツールではないため、必ず別に詳細な情報収集・分析を行うこと。なお「状況の事実」の各項目は課題分析標準項目に準拠しているが、必要に応じて追加して差し支えない。  
 ※2 介護支援専門員が収集した事象的事実を記載する。選択箇所に○印を記入。  
 ※3 現在の状況が「自立」「見守り」「一部介助」「全介助」以外である場合に、そのような状況をもたらしている要因を、様式上部の「要因」欄から選択し、該当する番号(丸数字)を記入する(複数の番号を記入可)。  
 ※4 今回の認定有効期間における状況の改善/維持/悪化の可能性について、介護支援専門員の判断で選択箇所に○印を記入する。  
 ※5 「要因」および「改善/維持の可能性」を踏まえ、要因を解決するための補助内容と、それが提供されることによって期待される効果(目標)を記載する。  
 ※6 本計画期間における優先順位を数字で記入。ただし、解決が必要だが本計画期間に取り上げることが困難な課題には「-」印を記入。

## SOIN<sup>そわん</sup>導入のメリット

<b>ケアプランの質の向上</b>	SOINが提案するサービスプランと、ケアマネジャー様ご自身で立案されたケアプランを比較し、改善することが可能。また、これまで個人の経験・知識の差によってばらつきが生じていたケアプランの質を、一定以上の水準に担保できます。
<b>利用者様やご家族の理解度・納得度の向上</b>	ケアプランを実行した際の状態の予測などが視覚的に示されるので、ご利用者・ご家族も今後の課題や目標を的確に把握。また、過去のデータという客観的根拠をもとに提案できるので、ケアプランに対するご利用者・ご家族の納得度も向上するでしょう。
<b>新人のサポーターやアドバイザーに</b>	簡単な項目を入力するだけで状態改善の可能性が高いサービスプランが提案されるので、新人のケアマネジャー様でも一定の質を保ったケアプランを作成できるようになります。
<b>提案の根拠として提示</b>	作成したケアプランに対して「なぜ」「どうして」と根拠を問われることがあると思います。そんな時に客観的なデータを元にしたケアプランを提案することができるだけでなく、具体的な数値やグラフを使って説明することができます。
<b>担当者会議で活用</b>	ケアプランの根拠を説明する材料にすることで、明確な目標を共有することができます。ご利用者の状態の予測を活用し、サービス提供の見通しを立てることができます。

## Case.01

SOINから提案された具体的な数字やグラフを見せることで説得力がアップ。

- ▶ご利用者は要介護2、90歳代の男性。腰椎圧迫骨折し、うまく歩けず1人でトイレに行くのが困難に。「自分1人で歩いてトイレに行きたい」という目標に向け、ご家族・ケアマネジャーがリハビリを提案するも拒否されてサービスに繋がらず。
- ▶言葉だけではなくデータで示すため、SOINにご利用者の状態を入力。  
改善の可能性などを数字やグラフで具体的に説明することで、リハビリの必要性を理解し、通うことを決意。
- ▶結果、リハビリに通うことで「1人でトイレに行く」という目標を見事達成。

## Case.02

[状態の予測]の悪化の可能性が高い項目に着目し、自分のケアプランを分析。

- ▶ご利用者は要介護1、90歳代の女性。「自宅以最期まで一人で暮らしたい」という強い思いがあるが、両膝の痛みや血圧変動、食物アレルギーなど様々な自立した日常生活の阻害要因があり、難しい状況。ただ、在宅継続が難しい一番の原因は分からない状態。
- ▶約1年後の状態を確認してみようと、SOINにご利用者の状態を入力。  
悪化の可能性が高い項目に[座位保持][爪切り][ズボン等の着脱][排尿][排便]が表示された。
- ▶両膝の痛み発症時にADLが低下することに気づき、リハビリで膝周り筋力強化などの対策を実施。在宅限界と判断されていたが、今でも在宅継続中。

## SOIN そわん への入力項目

介護認定調査の項目に準じた『基本生活情報』と『身体精神情報』の74項目(選択式)、『状態の悪化を防止したい項目』にご利用者の現在の状態を入力することで、膨大かつ精緻なデータからプランを提示します。

基本生活情報の入力

共通情報

要介護状態区分  
 非該当  要支援1  要支援2  要介護1  要介護2  要介護3  要介護4  要介護5

性別  
 男  女

年齢  
 75 歳

生活の場

家屋の形態  
 戸建  集合住宅  その他

住宅改修の可否  
 可  不可

介護力

介護力  
 独居  日中施設  高齢世帯  サポートできる家族や支援者が不在  家庭が閉鎖・疾病等がある  同居  その他

身体精神情報の入力

身体機能・起立動作

麻痺  あり  ない  
 左上肢  右上肢  左下肢  右下肢  その他(四肢の欠損)

拘縮  あり  ない  
 肩関節  股関節  膝関節  その他(四肢の欠損)

寝返り  あり  できない  
 できる  つまれば可

起き上がり  あり  できない  
 できる  つまれば可

座位保持  あり  できない  
 できる  自分で変えれば可  支えが必要

両足での立位保持  あり  できない  
 できる  支えが必要